

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

○教員養成に対する理念

科学技術の進展や複雑化が自然環境や社会生活に与えるさまざまな影響を無視できなくなっている現在、単に科学技術の成果を享受するだけでなく、市民として科学技術を正しく理解し、生活のレベルで活用できる力を養うことが望まれる。本学の理工学部、情報工学部、メディア情報学部は、科学や技術への幅広い関心と理解を基盤に「実践的な専門性」を備えた中等教育教員の養成を通じて社会に貢献していくことを目指している。また、人間科学部では、いのちを大切にし、平和と環境を保持し、人類の持続可能な発展をもたらすため、「保育・教育」「発達・心理」「文化」「保健・福祉」「環境」について総合的に理解し、その向上に貢献できる豊かな感性としなやかな知性を具えた高い専門性を持つ自立する人材の養成を目指し、「理論」と「実践力」をしっかりと身につけた幼稚園教諭・保育者を養成することを目指している。

○教職課程設置の趣旨、目標

「東京都市大学」は、1929年創設の「公正、自由、自治」を建学の精神とする「武蔵工業大学」と、1956年創設の「科学的、自主的、健全」な女子教育をめざす「東横女子短期大学」が2009年に統合して誕生した。工学部における堅実な技術者養成の伝統を有する本学の教職課程は、一般的な教育学部とは異なる特色を有し、科学や技術を理論的・実践的な裏付けをもって教えることのできる教員の養成をめざしてきた。そして今日、「東京都市大学」グループとして、幼稚園から大学院までを擁する総合的な学園へと発展している。

「ものづくりの思想とそれを支える科学や技術」、「人間生活における科学技術の意義や役割」、「高い専門性をもった豊かな人間性と国際的なセンス」「生涯発達の基礎としてのコミュニケーション能力や表現力」といった本学の特色ある学問研究や教育実践を活かしつつ、「持続可能な社会発展」という視点を備えた教員の養成が教職課程を設置する理由であるとともに、本学の社会的な使命であると考えている。

○目標を達成するための特色ある取り組み（カリキュラム）

教育実習など「学外での体験を伴う学習」について、以下のような特色ある授業科目を開設し、学生の実情を踏まえ、段階的に「教壇実習」をするにふさわしい「実践力」を身につけさせようとしている。

- ① 2年次開講の「介護等体験」で、体験の事前・事後にわたり7回の講義（ディスカッションや体験報告等を含む）を行い、学生がノーマライゼーションへの理解を深め、共感的・受容的な人間関係をつくることができるようにしている。同時に、「介護等体験」を学生たちが最初に「社会」に出会う機会として位置づけ、社会的な常識やコミュニケーション力を養うことにも力を入れている。
- ② 中等教育教員の養成課程では、実践的資質や授業力の向上を目指して、3年次開講の「教育実習(1)」において、大学近隣の世田谷区立小・中学校及び大学の附属小・中・高校にて1週間の観察実習を行っている。「教育実習(1)」を通じて、学生たちは学校現場の様子を知るとともに、自らの教職に対する適性等を熟慮し、4年次の教壇実習への心構えを築くようになる。中学校教員をめざす学生が小学校で実習をすることは、「子どもの発達段階」への理解を深め、「小中連携」「9年間の義務教育」を考える良い機会ともなる。
- ③ 2年次の「教育実習(1)」は、大学と地域の学校との連携を促進し、多くの学生が「学校支援ボランティア」等に参加する効果を生んでいる。
- ④ 3年次の夏季には、「教育実習(1)」の履修者で「合宿」を行い、授業や移動教室などの集団指導を模擬的に体験させ、教員に必要な知識や技術を鍛えている。
- ⑤ 4年次の「教育実習(2)」では、事前指導として、履修者学全員に模擬授業を課し、実践力を高めている。とりわけ、教育実習に赴く直前の5月初旬に「セミナー合宿」（全員参加）を実施し、現職教員（本学OBの中高教員）の指導のもと、学生同士が切磋琢磨することで教育実習に向かう意識を高め、授業力・生徒指導力の総仕上げを行っている。
- ⑥ 幼稚園教諭（一種）の養成課程を運営する人間科学部では、子育て支援センター「びっぴ」、「スタジオシアター」、「農業体験用畑（演習用圃場）」（大学近隣）などの学内外施設を有効に活用し、乳幼児期の全人的教育（保育）に携わる者にとって重要となる、コミュニケーション能力・表現力・実践力の育成に力を入れている。

本学では、こうした特色ある取り組み（カリキュラム）を通して、「実践的な専門性」を備えた教員の養成を目指している。